



THE ESO 1
PRESS vol.3

2013年4月14日 号外

「地元が負けるわけにいかない！」



TOYOさん他魚の部連覇

朝イチで磯に入り、次に向かったのは河川内。昨年同様、ボンボン系のルアーでキビレを仕留め、前回のマゴチ263gと同じ作戦で優勝をまかさった。一部参加者から「すごい！」との声も上がったが「一応ベイトタックルで釣った」などと、歯切れの悪い釈明で難を逃れていた。これについては実行委の中でも「内水面はどうか」「作戦勝ちでしょ」と賛否両論の意見があり、今後の課題となりそうだ。

＝ 2面に関連記事 ＝



コンスタントにエソをゲットするましゅんさん

生まれ育った地を圧勝



エソワンGP2013

優勝さん

世界一のエソ・アングラーを決める釣り大会「エソワングランプリ(GP)」の第3回大会が2013年4月14日、和歌山県日高郡美浜町の瀬の煙樹海岸を加。地元御坊市在住のベテランアングラー・ましゅんさんが5匹合計2517gと2位に241g差をつけて優勝を飾った。この日のためにプラを重ねていたというましゅんさんは「優勝は狙っていた」と笑顔が弾けていた。

ましゅんさん

総合結果

上位入賞3位まで

【エソの部】		
① ましゅん	5匹	2517g
② キヤンタマ	5匹	2276g
③ モリタク	5匹	2108g
4位以下は2面に掲載		
【他魚の部】		
① TOYO	キビレ	812g
② 東岸誠	ヒラメ	239g
③ フジオ	ガシラ	162g
④ kurage rider	ガシラ	141g



開会式では参加者でお笑い芸人の東岸誠さんがネタを披露

過去最多70人参加
開会式では東岸さんのネタも

大阪勢の最上位は3位のモリタクさん。奈良勢のトップは4位のやまおさんだった。リミットメイクを達成した参加者のフィードとして、衣奈漁港の他、煙樹ヶ浜、和歌山マリナーシティ大波止など、田辺市芳養まで遠征した参加者もいたが、ここの釣果が振るわなかった。

中紀勢1・2決める
2位につけたのは同じく中紀のキャンタマさん。地元有利とも見方もあるが、中紀勢10位内に入ったのは2人だけ。半面、紀北、大阪、奈良勢の健闘が光ったといえる。

ましゅんさんは、実行委員長ひるの釣りの師匠にあたる人物で、過去に何度か釣りのトーナメントを制したこともあり、エソワンでも第1回大会で3位に入賞し、今大会でも本番に強いところを見せた。

聖地・奈漁港で勝負
早々にリミットメークを達成したましゅんさんは、開会式が終わってすぐ日高郡由良町の北側にある衣奈漁港の波止場先陣付近に陣取った。衣奈漁港は大会公式ホームページ (<http://method.sevensaisai1.com/>)でも動画で紹介されている「聖地」であり、何人かの参加者がこゝを目指した。

エソワンGP2013の開催おめでとうございます

Coreman, PowerTide, ZETTAI, IRON PLATE

DAIICHISEIKO

PURE FISHING, Abu Garcia, Sable

HIGH POTENTIAL ORIGINAL LURES. GAN CRAFT

つり具のマルニシ

D-CLAW www.d-claw.jp

ima

SMITH LTD. WE AIM TO PLEASE MOTHER NATURE

過去最高の釣果を達成!

70人の強敵が集結



関西を代表するルアー釣りの大会へ

史上最も早い4月開催となった第3回大会は、前回と同様、煙樹海岸に本部を構え、開会式後に各自が散らばるといったスタイルを採用。近年まれにみる情けない釣果(5・20食果事件)に泣いた昨年とは打って変わり、過半数の37人がエソをゲット! リミットメーク達成者も5人を数えた。このページでは今大会の全容を振り返る。

恒例の景品くじ引き

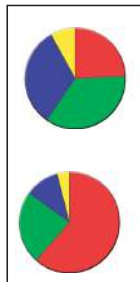


あぶさんから超サプライズ

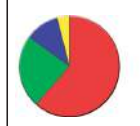
ソルティガ争奪戦勃発!

参加者みなさんへおめでとう、エソの釣果は素晴らしい結果であった。今大会の開催では、有意義な活動を実施し、前回のエソングランドプリ大会で争奪戦を演じた。この時に得た勝利は、エソの大会(エソ)の歴史である。この大会は、エソの大会(エソ)の歴史である。この大会は、エソの大会(エソ)の歴史である。

世界初のエソをターゲットにした大会。昨年は5月20日の開催だったが、ウェインで見かけたエソを持ったアングラーの姿は、人へついでに和歌山県海防市の県立自然博物館へと、和歌山県の沿岸で釣れたエソの多くは、トカゲエソという種類で、前回は5月か8月にかけトカゲエソは産卵で深場に落ちるという話はないのだが、一般的に多くの魚は産卵に体力を蓄えるために荒食いする傾向にあり、産卵期はなかなか釣れななると言われている。前回大会の1匹平均重量は64%と、産卵に体力がない若い個体が釣れたこと



年齢別



地域別

参加者70人、昨年より18人増となった。昨年は平均年齢が37歳、地域では和歌山県が最多で、実行委員も参加した。今年も和歌山県が最多で、実行委員も参加した。今年も和歌山県が最多で、実行委員も参加した。今年も和歌山県が最多で、実行委員も参加した。

も、産卵期の釣果特異の現象だといえる。現実エソは、ベイトフィッシュが沿岸部に多いのも4月、中絶で釣果も回復するも3・4月という理由も加味し、4月開催となった。今回は3位までの1匹平均は40%と前回の10倍の重量、さばいみるとやや小さめの卵や白子を持った個体ばかりで、産卵に入る直前ということが確認された。副実行委員長の青山雄史さんは、「トカゲエソの産卵も重視し、大会で釣れ合い、その後もソルティガで相互フォローしては」と話している。



まじゅんさんのクーラーの中。中央のランカーが衣奈のポテンシャルの高さを物語っている。

王者はオールラウンダー ウイニングルアーはジケ40号

第1回大会から設けられている他魚の部については多くの意見が寄せられている。今大会はTOYOさんが河川域にてキビレを釣上げ、昨年のマゴチに続いて連覇「ターゲットを川エソに絞った結果、キビレがヒットしてしまいました。」と苦しい言い訳を繰り返してはいたが、結果的には作戦勝ちだ。

参加者の中にはエソ5匹を早々にリミットメークし、他魚の部との2部門制覇を目論んでいる強者もいる。ただ、河川内の連覇により、内水面については今後、物議を醸しそうだ。

結果

- ① エソの部4位以下 (カッコ内匹数・単位位)
② やすお (4・18・5)
③ エソ師匠 (1・Y・5)
④ 1835 (6) きよちゃん
⑤ 1500 (6) 幹幹 (4)
⑥ 1500 (6) chaser
⑦ 1410 (6) 山田ゴウ (1)
⑧ 1333 (6) ぽん (3)
⑨ 1318 (6) dkk (3)
⑩ Gちゃん

- ① 280 (6) あたり (4)
② 223 (6) S (2) 98 (6)
③ さびた (2) 3 (6)
④ しむむ (2) 8 (6) ⑤ たけぼん (3) 8 (6) ⑥ さき (2) 7 (6) ⑦ かい (2) 7 (6) ⑧ 8 (6) ⑨ 8 (6) ⑩ 8 (6) ⑪ 8 (6) ⑫ 8 (6) ⑬ 8 (6) ⑭ 8 (6) ⑮ 8 (6) ⑯ 8 (6) ⑰ 8 (6) ⑱ 8 (6) ⑲ 8 (6) ⑳ 8 (6) ㉑ 8 (6) ㉒ 8 (6) ㉓ 8 (6) ㉔ 8 (6) ㉕ 8 (6) ㉖ 8 (6) ㉗ 8 (6) ㉘ 8 (6) ㉙ 8 (6) ㉚ 8 (6) ㉛ 8 (6) ㉜ 8 (6) ㉝ 8 (6) ㉞ 8 (6) ㉟ 8 (6) ㊱ 8 (6) ㊲ 8 (6) ㊳ 8 (6) ㊴ 8 (6) ㊵ 8 (6) ㊶ 8 (6) ㊷ 8 (6) ㊸ 8 (6) ㊹ 8 (6) ㊺ 8 (6) ㊻ 8 (6) ㊼ 8 (6) ㊽ 8 (6) ㊾ 8 (6) ㊿ 8 (6)

和歌山マリーナシティ海釣り公園 海洋釣り堀・釣り公園

道楽箱 www.dourakubako.com

世一 四季の素材を厳選し旬の味にこだわる。

Wing CORPORATE PROFILE OF WING

design and resin works PICTARTS http://www.pictarts.net/

加太淡島温泉 あぶりの湯 ペンションふじや

乗合い船 春丸 KASUGAMARU

淡輪 ヨットハーバー